



敬友会ニュース

～新型コロナウイルス感染予防対策について～

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、多くの高齢者様の生活の場である介護施設での感染予防対策が重要となっております。
敬友会が現在、法人全体で実施している取り組みをご覧ください。



法人内では、【手作りマスク支援隊】の有志募り、約30名で**約750枚**の手作りマスクが作成しました。マスクが不足している職員や、職員の家族へ配布いたしました。
マスク支援隊の皆さん、お疲れ様でした。

感染予防に欠かせない『マスク』が不足している中、地域の方から手作りマスクを寄贈していただきました。

なかなかマスクを手に入れることが難しい現状の中、地域の方から多くのご支援を賜り、大変助かりました。
ありがとうございました。



マスク以外に感染予防対策として必要となるのが、『消毒』です。
アルコール消毒液も入手困難となっております。
敬友会では施設内に微次亜塩素酸水の精製器を設置し、利用者様や職員の手指消毒や、ドアノブや手すりの消毒にも利用しております。
また消毒液が不足している職員が自宅へ持ち帰ったり、消毒液を必要とされる地域の皆様へも配布を行っております。



＼Web面会も開始しました／



敬友会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、3月下旬からご入所者のご家族様との面会を制限させていただいております。家族と会えず、コミュニケーションが取れないため、不安を抱えておられます。少しでも不安を解消できるよう、タブレット・スマホを用いてWeb面会を始めました。
直接会うことができなくても、お顔が見られるだけで、ご入所者様の表情がとて明るくなり、そのご様子を見守る職員も嬉しく思いました。

『備えあれば憂いなし』

感染予防対策を実施していても万が一施設内で感染者が発生した場合を想定しての対策も進めております。

フェイスシールドや防護服なども通常時の備蓄だけでは不足が想定される為品薄で購入が出来ない時は、職員同士で知恵を出し合って手作りで作成してみました。
その他にも施設内のゾーニング（区域管理）を進めカーテンで仕切りが直ぐに出来るよう準備したり、「3密」を避けるために様々な取り組みをしています。



クリアファイルと輪ゴムで簡単フェイスシールド



プラスチックトレイとヘアキャップを組み合わせたフェイスシールド